

2024年4月吉日

OBOGの皆様

法友ヨット倶楽部理事会

## 第35回十大学OBヨットクラブ対校レースのご案内

日頃より、法友ヨット倶楽部の運営にご理解ご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、来たる5月25日（土）、江東区の若洲ヨット訓練所において、第35回十大学OBヨットクラブ対校レースが開催されます。

例年は、土日の2日間で行われていましたが、参加人数の減少や運営の煩雑さから、今回は1日のみの開催となりました。艇種については、スナイプとレーザーになります。

OBOGになって、なかなかディンギーに乗る機会が無い中、久しぶりに風を感じ、水を切る感覚を味わってみてはいかがでしょうか！また、懐かしい他校の同期や先輩・後輩に会えるチャンスでもあります！

レース参加しなくても、OB所有の観覧艇もありますので、懐かしい仲間たちの奮闘ぶりが間近で見ることが出来ます。レース終了後（14時頃以降から）は、若洲ヨット訓練所艇庫内にて、懇親会も予定されています。

（※参加費は、お一人2,000円（懇親会費含む）となります）

比較的アクセスの良い都心で行われますので、是非参加してみたいはいかがでしょうか？

事前申し込みが必要となりますので、参加ご希望の方は、5月7日（火）までにご連絡お願い致します。大勢の方々の参加をお待ちしております！

ご連絡先（申込先） 事業チーム 今井（1985年卒） [imaitooru.0116@icloud.com](mailto:imaitooru.0116@icloud.com)

以上

◆若洲ヨット訓練所

[https://www.tptc.co.jp/park/03\\_06](https://www.tptc.co.jp/park/03_06)

# 2024年第35回十大学OBヨットクラブ対校レース

## SAILING INSTRUCTIONS

### 1. 規則

セーリング競技規則 2021-2024 (以下『規則』) を適用する。

### 2. 選手とのコミュニケーション

大会本部前に設置された公式掲示板に掲示する。海上にて通告を行う場合には、スタート信号艇にL旗を掲揚したうえ、口頭で通告する。

### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、当日の最初のスタート予告信号予定時刻の60分前までに掲示する。レース日程の変更は、当日の8:00までに掲示する。

### 4. 陸上で発する信号

4.1 陸上で発する信号は、新艇車前に設置された掲揚ポールに掲揚する。

4.2 回答旗が陸上で掲揚された場合は、レース信号回答旗中の「1分」を「30分以降」と置き換える。

4.3 音響信号1声と共に掲揚されるD旗は、「予告信号は、D旗掲揚後30分以降に発する。」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで、ハーバーを離れてはならない。

### 5. 日程

#### 5.1. レース日程

Date	Time	Event
5月25日(土)	7:00	受付・チャーター艇の抽選・ブリーフィング
	8:00	開会式・艇長会議
	9:25	スナイブ級 第1レース 予告信号予定時刻
	9:30	ILCA4 (レーザー4.7) 第1レース 予告信号予定時刻
		第2レース以降は進行状況に応じて実施する。
	14:00	懇親会
	16:00	閉会式

5.2. 予告信号は、12:55より後に発しない。

5.4. 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意を喚起するため、最低5分以前に音響1声とともにオレンジ色旗を掲揚する。

### 6. クラス旗

クラス旗は次の通りとする。

Class	Class flag
スナイブ級	スナイブ級旗
ILCA4 (レーザー4.7)	ILCA4 (レーザー4.7)

### 7. レース エリア

レース・エリアの場所をSI Appendix Aに示す。

### 8. コース

SI Appendix Bの見取り図はレグ間の概ねの角度、通過するマークの順序及びそれぞれのマークをど

ちら側に見て通過するかを含むコースを示す。

## 9. マーク

マーク、次の通りとする。

Marks1,2,3	Starting & Finishing Line Mark
黄色 円筒形	黄色 円筒形

## 10. スタート

10.1 スタート・ラインは、スターボードの端となるレース委員会艇の『オレンジ色旗』を掲げたポールまたはマストと、スタート・アウトサイド・マークの間とする。

10.2 スタート信号の4分以降にスタートする艇は[DNS]と記録される。この項は規則A4を変更している。

## 11. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、新しいマークを設置し、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 12. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインはレース委員会艇のオレンジ色旗を掲揚しているポールとフィニッシュ・マークの間とする。

## 13. タイム リミットと目標時間

13.1 タイムリミットと目標時間は次の通りとする。

種目	タイムリミット	マーク1 ターゲットタイム	フィニッシュ ウインドウ	ターゲット タイム
スナイプクラス	40	10	10	30
ILCA4 (レーザー4.7)	40	10	10	25

目標時間通りとならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは、規則62.1(a)を変更している。

13.2 先頭艇フィニッシュ後10分以内、またはタイム・リミット内いずれか早い方にフィニッシュしない艇はDNFと記載される。この項は規則35とA4 A5を変更している。

## 14. 抗議と救済の要求

14.1 抗議書は、レースオフィスで入手できる。抗議及び救済または再審の要求は適切な制限時間内に提出しなければならない。

14.2 抗議締切り時間はその日の最終レース終了後60分とする。この項は規則62.2を変更している。

14.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に通告するために、抗議締切り時刻後30分以内に通告書を掲示する。審問は新艇庫2階のプロテスト・ルームで行われ、抗議締切り時刻前に行われることもある。

14.4 最終日のレースでは、審問の再開を要求する場合、次の時間内に提出されなければならない。

要求する当事者が前日に判決を通告された場合には抗議締切り時間内。

要求する当事者がその当日に判決を通告された後30分以内。この項は、規則66を変更している。

## 15. 得点

15.1 大会の成立には、1レースを完了することを必要とする。

15.2 艇は掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、レースオフィスに準備されたお問い合わせフォームをレース委員会に提出する事で得点及び、成績の訂正を要請する事が出来る。

15.3 艇の得点は次の通りとする。これは規則A2を変更している。

15.4 各種目の順位は実施したレース得点の合計とする。

なお、不参加のレースはDNCと記録し、参加しなかった得点(参加艇数+1点)とする。

15.5 総合順位はスナイプ級、レーザー級4.7フリー、の全ての得点を合計する。

## 16. 安全規定

- 16.1.1 チェックアウトチェックインは以下のとおりとする。
- 16.1.2 レースに参加しようとする競技者は、出艇前に出艇・帰着申告所にて『出艇申告書』にサインしなければならない。
- 16.1.3 レースに参加した競技者は、帰着後、抗議締切り時間内に出艇・帰着申告所にて『帰着申告書』にサインしなければならない。
- 16.2.1 乗員の交代は、申告無しに行うことが出来るが、放送された時刻までに集合場所に集まること。
- 16.2.2 乗員の交代は、運営艇もしくは支援艇によって行われる。
- 16.3.3 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に行わなければならない。

## 17. 運営艇の識別

運営艇の標識は次の通りとする。

Boat	Flag description
レース委員会艇	白地に緑で“RC”旗
プロテスト委員会艇	赤地に白で“JURY”
レスキュー艇	白字に赤で“RESCUE”
メディア艇	緑地に白で“MEDIA”

## 18. 支援艇

- 18.1 艇の支援要員が支援艇を用いる場合は、事前にレース委員会に登録しなければならない。
- 18.2 支援艇は、レース委員会艇の運行を妨げてはならない。またレース委員会の要請がない限り、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュまたはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。
- 18.3 天候その他の事情により、レース委員会は支援艇に曳航の要請をする場合がある。
- 18.4 レース委員会信号艇またはレース委員会艇に数字旗 8 が掲揚された場合、「すべての支援艇は、レースをしているエリアを含む全エリアにおいて、危険な状態にある艇を可能な限り速やかに救助しなければならない」ことを意味する。

## 19. ごみの処分

ごみは支援艇または大会運営艇に渡してもよい。

## 20. 無線通信

緊急の場合を除き、艇はレース中無線送信と、すべての艇が利用できない無線通信の受信をしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

帆④

## 21. 賞

レース公示に準ずる。

## 22. リスク・ステートメント

RRS 3 には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任は、その艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。

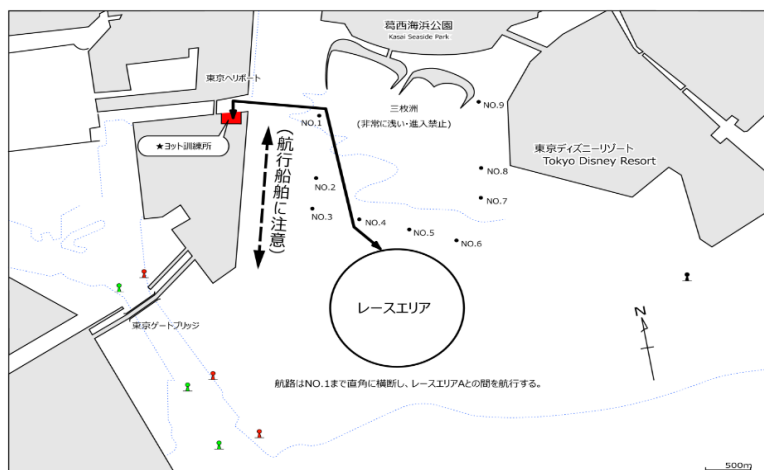
### 23. 保険

主催者の方でも障害保険に加入するが、各参加選手は、スポーツ安全保険、または同等の保険に加入していることを推奨する。

### 24. ビブス (ゼッケン)

レースに出場する総ての選手は、運営本部から貸与される bib (ゼッケン) を必ず着用すること。

## SI Appendix A COURSE AREA



## SI Appendix B COURSE ILLUSTRATION

Start ⇒ 1 ⇒ 2 ⇒ 3 ⇒ 1 ⇒ Finish

